

## 新入医局員からのメッセージ（2021年度）

### 石川 健太 先生

この度、岩手医科大学泌尿器科学講座に入局させて頂いた石川健太と申します。

私は岩手医科大学出身で、学生の頃から漠然と泌尿器科の専攻を考えおりましたが、学生時代の実習期間を通して泌尿器科の先生方の人柄、医局の雰囲気に触れ泌尿器科専攻の意思が強くなりました。大学卒業後、岩手県立久慈病院での研修期間中、泌尿器科をローテートさせて頂き泌尿器科の包括する診療範囲の広さ、また上級医の先生方に泌尿器科的手技や診療の多くを経験させていただけたことで学問としての楽しさを経験でき是非とも泌尿器科で働きたいと考えました。

泌尿器科専攻を少しでも考えていたり、専攻にしたい科が定まっていない学生や研修医の皆様には是非とも泌尿器科ローテートをお勧めします。気さくで医師としても尊敬できる先生方が泌尿器科には多いので医師人生においても非常に学べることが多いと思います。また、私も学生や研修医の先生方と接する機会があれば泌尿器科の面白さを伝えるだけでなく、一緒に探していくことを思っていますので是非ともお待ちしております。



### 後藤 佑太 先生

この度、岩手医科大学泌尿器科学講座に入局させていただきました後藤と申します。初期研修は岩手県立胆沢病院にて学ばせていただきました。私が泌尿器科に興味を持ったきっかけは、在学中の実習にて泌尿器科の扱う分野の豊富さ、内科的知識だけではなく、様々な手術（経尿管、開腹、腹腔鏡、da Vinciなど）を行なっていることに魅力を感じた事でした。

その為、学生の頃から泌尿器科を第一志望として考えておりました。研修医として実臨床に出てみると、最近の topics として化学療法などの悪性腫瘍に関連する分野が目立っておりますが、排尿機能が ADL に与える影響の大きさなど身近な面においても泌尿器科医の地域診療における重要さに気付き、より一層泌尿器科に引かれたため、泌尿器科医師を目指しました。また岩手医科大学泌尿器科の先生方は、親身になってご指導ください、医学的な面だけではなく医師キャリアについても共に考えてくださるなど at home な環境であることも魅力的でありました。先輩の先生方が私に教えてくださった様に少しでも泌尿器の魅力を伝えていきたいと考えております。泌尿器科はよくマイナー科と呼ばれておりますが、私自身は現代の超高齢社会において一番日常生活に関わってくる診療科ではないかと感じておりますので少しでも泌尿器に興味をお持ちのかたは医局にいらしてみてください。



### 玉田 紳治 先生

今年度より岩手医科大学泌尿器科学講座に入局させていただきました、玉田紳治と申します。私は岩手県北上市出身で、岩手医科大学を卒業しました。父が泌尿器科医であることから、学生時代より泌尿器科に興味を持っていました。県立中央病院での初期研修で泌尿器科を選択した期間では、早いうちから多くの手技を経験させていただき、泌尿器科の面白さを、身をもって知ることができました。多彩な臓器を扱うところ、手術や化学療法、透析、移植など多くの治療法があるところ、ロボット手術や分子標的治療など最先端の治療があるところなどが魅力的だと感じています。学生、研修医の皆様には一度でも泌尿器科に興味を持ち、触れてみてもらえたうれしいです。岩手県の医療に少しでも貢献できるよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

